



# 公立山城病院新聞

日本医療機能評価機構認定病院  
YAMASHIRO PUBLIC HOSPITAL

発行元 公立山城病院  
発行元責任者 中埜 幸治

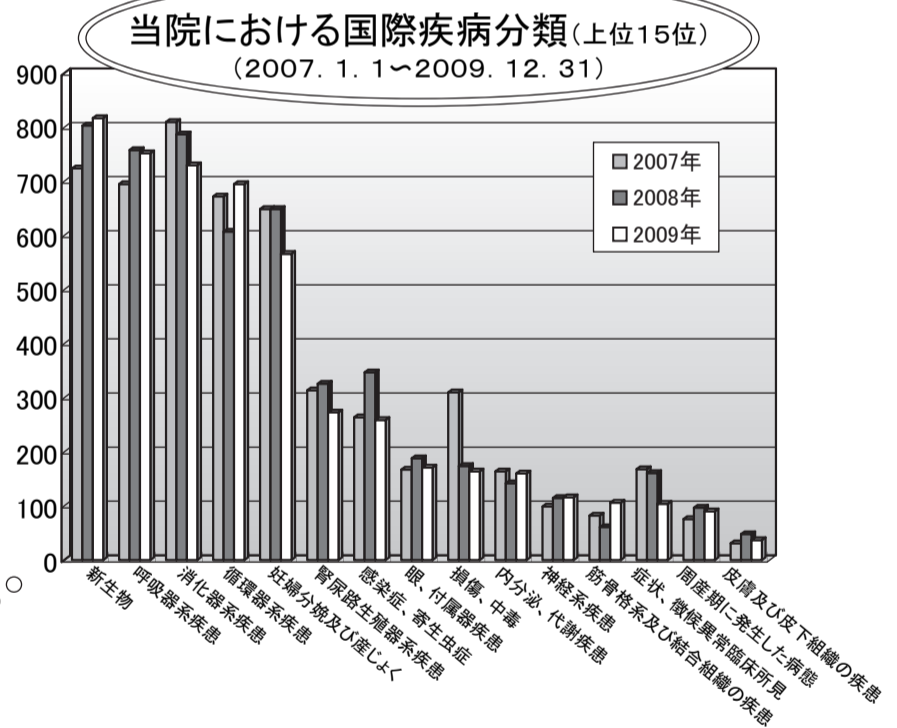
## 当院退院における国際疾病分類 (上位15位内訳 (2009年))

☆当院の2009年、国際疾病分類の主な上位は、  
1位「新生物」、2位「呼吸器系疾患」、3位「消化器系疾患」となっております。

1位		2位		3位		4位		5位		6位	
新生物		呼吸器系疾患		消化器系疾患		循環器系疾患		妊娠分娩及び産じょく		腎尿路生殖器系の疾患	
胃・腸・肝・胆・膵	401	インフルエンザ・肺炎	409	大腸ポリープ	189	狭心症	179	分娩	492	腎・尿管・尿路・膀胱結石症	70
乳がん	65	急性気管支炎	99	単径ヘルニア	85	心不全	129	切迫流産、		腎盂腎炎	40
前立腺がん	65	気管支喘息	75	胆石症	79	脳梗塞	111	重症妊娠悪阻、他	74	腎不全	27
肺がん	57	誤嚥性肺炎	57	イレウス	54	虚血性心疾患	34			尿路感染症	25
膀胱がん	45			虫垂炎	48	心筋梗塞	32			前立腺肥大	20
他	184	他	112	他	275	他	210	他		他	91
計	817	計	752	計	730	計	695	計	566	計	273

7位		8位		9位		10位		11位		12位	
感染症、寄生虫症		眼、付属器疾患		損傷、中毒		内分泌、代謝疾患		神経系疾患		筋骨格系および結合組織の疾患	
胃腸炎	176	老人性初発白内障	166	骨折	35	糖尿病	102	てんかん	25	関節リウマチ	44
帯状疱疹	16			外傷性硬膜下・くも膜下出血	18	脱水症	23	睡眠時無呼吸症候群	25	川崎病	15
敗血症	11			頭部打撲	18	低血糖発作	5	ニューロパシー	15		
B・C型肝炎	9			薬物中毒				一過性脳虚血発作	13		
他	47	他	5	有害動物との接触	16						
計	259	計	171	他	77	他	30	他	38	他	47
				計	164	計	160	計	116	計	106

13位		14位		15位	
症状、徴候異常臨床所見		周産期に発生した病態		皮膚及び皮下組織の疾患	
熱性けいれん	23	新生児呼吸障害	17	蜂巣炎	12
めまい症	13	低出生体重児	15	皮膚炎・湿疹	6
嘔吐症	11	新生児黄疸	14	褥創	5
意識障害	10	早産児	13		
他	47	他	31	他	14
計	104	計	90	計	37



### ※国際疾病分類とは

○正式には、  
International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems  
疾病及び関連保健問題の国際統計分類のことです。

「疾病及び関連保健問題の国際統計分類」とは・・・  
○死因や疾病の国際的な統計基準として世界保健機関(WHO)によって公表された分類のことです。

☆過去3年間の当院の国際疾病分類をみますと、  
「新生物」が年々増加傾向であることがわかります。

夏にはハチが活動的になるため、ハチ刺されによるアナフィラキシーに注意する必要があります。アナフィラキシーとは、ハチ毒や食物、薬物等が原因で起こる急性アレルギー反応の一つです。原因物質が体に入ると、数分から数十分以内に唇のしびれ、蕁麻疹、腹痛などの初期症状に続き、重症の場合には呼吸困難、意識障害などのショック症状となる場合があります。

ハチ毒によるアナフィラキシーのうち、最も多いのはスズメバチに刺されることです。スズメバチ以外のハチに刺されたときにもアレルギー反応が出現する可能性があります。日本では毎年30人前後の方がショック症状により死亡しております。

万が一、ハチに刺されてアナフィラキシーが出現した場合には、一刻も早く救命処置を行う必要があります。ところが、救急車の到着までに時間を要することも稀ではありません。こうした場合の対処法として、一般の方でも扱うことのできるエピネフリン注射液(商品名:エピペン)が販売されています。

注射液が内蔵されており、安全キャップを外して太ももの前外側に強く押し付けるだけで、注射ができるしくみになっています。

エピペンは処方医師に登録された医師のみが処方可能な製剤です。当院にはエピペンを処方できる登録医がおります。ただし、保険適応となっていないため、費用が高いのが問題です。おおむね1万5千円くらいかかります。これまでに蜂に刺されたり、特定の食物や薬で重いアナフィラキシー症状を起こしたことがある、または発現する危険性の高い人をご希望のある方はご相談ください。

薬剤部 富山 慎也

### スズメバチに注意!





# 新人研修

奈良オリエンテーリング 2010

初夏を思わせる爽やかな4月30日、看護部新人職者19名、教育担当者3名の計22名が参加し、新人研修の一環である「奈良オリエンテーリング」が行われました。この院外研修は、新人職者間の親睦を深め、協調性を学び、また病院周辺の環境に触れることでリフレッシュを図り、仕事に対するモチベーションを高める事を目的とし、本年度導入3年目を迎えました。さてこの「奈良オリエンテーリング」ですが、3つのグループに分かれ出された課題をグループのメンバーで協力し合い解いていきます。

課題は例えば「二月堂の大鐘は看護部長が立つたまま手を伸ばすと触れるか？」など、全てがその場に行かないとわからないようになっており、課題を解いていくうちに東大寺、興福寺、国立博物館、二月堂など、奈良を代表する歴史的建造物をぐるりと周ることになる大変秀逸な課題となっているのです(当院某看護部副部長作)。しかし、昨年も参加している私は知っていました。このオリエンテーリングがどんなに体力的に過酷かということを・・・約2時間半歩きっぱなし、しかも真面目にやればやるほど体力を奪われていくという何とも恐ろしい(?)ゲームなのです。そんな訳で、雲ひとつない青空を少し恨めしく思いながら、同行させて頂きました。オリエンテーリングの様子はというと、皆が熱心に、真面目に、また楽しそうに取り組む姿にとっても感心しました。何よりもチームワークが良く、意見を出し合いうまくまとめ、またメンバーのことを思いやる姿が印象的でした。そんな場面を見て、今年も本当に良い仲間を病院に迎えることが出来たと実感し、また病院とは少し違う顔も見られて親近感も湧き、楽しい一日を過ごさせて頂きました。



をぐるりと周ることになる大変秀逸な課題となっているのです(当院某看護部副部長作)。しかし、昨年も参加している私は知っていました。このオリエンテーリングがどんなに体力的に過酷かということを・・・約2時間半歩きっぱなし、しかも真面目にやればやるほど体力を奪われていくという何とも恐ろしい(?)ゲームなのです。そんな訳で、雲ひとつない青空を少し恨めしく思いながら、同行させて頂きました。オリエンテーリングの様子はというと、皆が熱心に、真面目に、また楽しそうに取り組む姿にとっても感心しました。何よりもチームワークが良く、意見を出し合いうまくまとめ、またメンバーのことを思いやる姿が印象的でした。そんな場面を見て、今年も本当に良い仲間を病院に迎えることが出来たと実感し、また病院とは少し違う顔も見られて親近感も湧き、楽しい一日を過ごさせて頂きました。

看護部教育委員 岡上亜子

## 入職後2カ月たって、 新採用者から一言

就職して早、2か月ほどたち、先輩から丁寧な指導をして頂き出来る事も増えてきました。しかし、未だ覚えることが沢山あり、どのように行動したらいいのかかわからず焦りを感じる毎日です。患者様の個性に対応した手技が少しでも多く自信を持って確実に出来るように日々研鑽していきたいと思っています。

手術室 松本博美・植麻理子

最初、ICUといった超急性期に入って本当に自分はやっていけるのだろうかと非常に不安でした。実際、現在も不安は残っています。しかし、毎日先輩が丁寧かつ優しく教えてくださり、毎日がんばって看護に努めています。まだまだ慣れませんが、先輩に教わりながら一歩ずつ出来ること、分かることを増やし頑張っていこうと思います。

ICU 辻本恵都子・高山良光

4階病棟は、産婦人科・小児科があり、専門的な知識・技術が求められる、学ぶべき事が多くあります。就職してもうすぐ2か月になりましたが、毎日先輩方が懸命に指導して下さい、困ったことや悩みを相談しやすく、これからも頑張っていきたいです。

4階病棟 岡本さち・亀井美帆・高江陽子

入職後は環境に慣れることや仕事内容を把握することで一杯でしたが、先輩方の指導や優しい声掛けにより患者様と向き合っ一生涯懸命努めます。命の尊さ、それに関わる看護職の厳しさを学ばせて下さる患者様、先輩の方々に感謝で一杯です。

5階病棟 大賀尚子・岡本真由香・岡田和也

私たちが勤務している6階病棟は、入退院の入れ替わりが早い為、患者様の病態を追うのが難しいと感じています。しかし、先輩看護師に多くの指導を頂けるので、毎日たくさん学びがあります。これからも日々成長できるよう頑張りたいと思います。

6階病棟 村山未樹・松井環・嶽有紀子・田之口貴洋



この2か月を振り返り、看護師という仕事の責任の重さを改めて感じています。オリエンテーションで業務に関する講習や実技を学び病棟へ配属されましたが、業務の流れを理解するだけではなく疾患や検査内容の理解など毎日が勉強です。仕事は大変ですが病棟の先輩方には丁寧に指導してもらっているので、1日でも早く力になれるように頑張りたいと思います。不安や悩みも同期の仲間と話をしたり、指導者の方にも相談したりして看護師として一歩ずつ前に進んで行きたいと思っています。

7階病棟 高山 昇・長井舞子・尾登 洋・佐藤美紀

入職当初は、患者様とコミュニケーションをとる事も難しく、不安や緊張は大きいものでした。しかし、先輩方が優しく丁寧に指導、フォローして下さいることで少しずつ慣れてきました。先輩方のようにいつも笑顔で優しい看護師に慣れるように頑張りたいと思います。

8階病棟 稲垣文子・竹部泰代・酒井妙・布留本知恵子

臨床工学室で働かせてもらい、2ヶ月が経ちました。先輩方に様々な指導をして頂き、臨床現場で働くことの大変さや責任の重さを実感しました。初心を忘れず適切・有効・安全・安心な医療を提供できるように日々精進していきますので宜しくお願いします。

臨床工学室 藤井和弥・杉山和哉・藤野英治



# 当院 麻酔科紹介



## 麻酔科ってどんな科？

当院麻酔科は常勤の私のほか、非常勤医2名の協力の下、主に手術時の全身麻酔を担当しています。

手術が予定されると、カルテから患者さんの年齢、体格、既往歴、現病歴、検査データ等の患者情報を読み取り、手術・麻酔における患者リスクを評価します。

その後、実際に患者さんとお会いし、さらに細かい情報を得、手術中に起こりうることを予測し、そのようなことが起こらないための予防策を考え、また起こった場合の対処法を準備します。そして患者さんにとって一番良い麻酔法を選択します。

全身麻酔には、  
鎮静、鎮痛、不動化の  
3つの要素があります。

### ○鎮静とは

手術中患者さんが意識のない状態を保つこと。鎮静方法には、麻酔のガスを吸うことにより意識をとる吸入麻酔、点滴から血管内に薬を投与することにより意識をとる静脈麻酔があります。当院では専ら吸入麻酔と静脈麻酔を併用する方法をとっています。

### ○鎮痛とは

患者さんが手術中痛みを感じないようにすること。全身麻酔中患者さんは当然意識が無いのですが、体が痛みを感じると心拍数や血圧が上昇します。手術中は心拍数や血圧を見ながら鎮痛薬の量を調節しています。鎮痛方法には、鎮痛薬を血管内に投与する方法や、硬膜外麻酔など痛みのシグ

ナルが脳に伝わるのを遮断する神経ブロックを用いる方法があります。

### ○不動化とは

手術中患者さんが動かないようにすること。筋弛緩薬という薬を使用します。筋弛緩薬を使用すると呼吸する筋肉も動かなくなるので、手術中の人工呼吸も麻酔科の重要な仕事です。近年、優れた筋弛緩薬・拮抗薬が使えるようになり、麻酔の安全性がさらに高まりました。

手術室で行われる手術は、手術を担当する外科系医師、麻酔を担当する麻酔科医のほか、手術・麻酔をサポートする手術室看護師、緊急検査を行う臨床検査技師、術中X線撮影をする診療放射線技師、医療機器を管理する臨床工学技士などの協力の下で行われています。



診療部麻酔科部長 松本裕則

## 住民フォーラムが 開催されました

5月20日に第6回住民フォーラムが、当院会議室で91名の参加者を迎え開催されました。

今年2月から稼動した新型のMRI装置の紹介を目的に「最新MRI(1.5テスラ)の得意技」というテーマで菅沼外科部長の司会により進行されました。

### ◇はじめの挨拶

中院長から、地域の皆様により良い医療を提供する為、山城病院では最新の機器を導入しているとの説明がありました。

◇石原放射線科部長による  
「Vantage Atlas-Zの特性」

3テスラ装置を凌ぐ高い汎用性、高い基本性能、人に優しいコンセプト(静か、短時間、高精度と広領域の両立、非造影の世界を広げる)についての説明がありました。

◇岩本脳神経外科部長による  
「頭部・脳血管領域」

ルーチン検査、脳腫瘍、超急性期脳梗塞の画像説明があり、さらに最新装置になり画像が鮮明になったと述べられ、また最新の検査法も出来るようになったため、安全な手術に活かして行くとの抱負が述べられました。

◇中井乳腺内分泌外科部長(副院長)による  
「乳腺」

鮮明なMRI画像を活用することで存在診断、局所診断、質的診断、広がり診断が向上するとの説明があり、乳房の形を戻す手術法の紹介もされました。

◇佐野放射線科医長による「血管系」

MRIはCTに比べ検査時間が長く狭窄の過大評価や空間分解能が劣るなどの欠点がありますが、被曝が無くまた造影剤無しでも血管の検査が可能という利点の説明がありました。解離性大動脈瘤、下肢閉塞性動脈硬化症、下腿静脈瘤の症例画像などについても説明されました。

◇石原放射線科部長による「脊椎・関節」

短時間で広範囲な全脊椎検査、リウマチの病変部が良くわかる両手の造影MRI検査、肩や膝の高精細画像が提示されました。

◇山口消化器外科部長による  
「上腹部(肝・胆・膵)」

腸管の動きが分かる動画、3DのMRCP(胆管・膵管)画像、腹部血管の選択的描出、がんや炎症を見つけるヒントとなる拡散強調画像が提示されました。

◇中河泌尿器科部長(副院長)による  
「下腹部(泌尿器科領域)」

前立腺がんについての画像説明がありました。MRIで検査できる人数には限度があり、検診で異常があってもMRIで精密検査を実施する対象者は絞込まなければならないとのことでした。

◇木村放射線科課長(筆者)による  
「MRIを安全に受けていただくために」

予約時に体内金属などの申告、検査前に装着金属の取り外し、検査中に異常を感じたら知らせるなどの協力をお願いします。

◇会場の方々から

MRIの料金や検診について質問がありました。MRI検査は、診察を受けていただき医師が必要と判断すれば、検査を受けることが出来ます。料金は、3割負担の場合 約7,000円です。(造影検査は追加料金あり)

山城病院の検診には、脳ドックもあります。(今年度分は、受け付け終了しました。)

◇終わりに

放射線科では、この最新MRI装置が地域住民の健康維持・増進に活用されるよう鋭意努力しています。

放射線科課長 木村喜昭





# 医学生の実習を 受け入れていきます



当院では昨年度から、京都府立医科大学の学生の実習を受け入れていきます。クリニカルクラックシップ（診療参加型臨床実習）という名称の制度で、医学部最終学年の6回生が、医師になる前に実際の医療現場で実習し、知識と経験を深めることを目的としたものです。

今年度は、5月10日から7月2日までの8週間の予定で、計15人の学生が、希望により消化器科、循環器科、産婦人科、小児科、救急医療、放射線科を選択し実習しています。当院での各々の学生の実習期間は2週間から4週間、残りの期間は当院以外の京都府内の病院で同様の実習を経験することになっています。指導医師の許可と患者様の同意があれば、診察などの診療行為も行ってもらっています。（患者様の同意がなければ、学生が担当することはありません。）

実習する学生にとって、卒業前に実際の医療現場を見ることは、いろいろな意味で非常に良い経験になります。当院としては、忙しい診療の中で教育を行うことに少し負担を感じることもあるのですが、将来の人材を育てるという大切な仕事に関与できることは、とても有意義なことだと考えています。そして、われわれが忙しくとも毎日やりがいを持って働く姿を見てもらうことにより、将来的に一緒に地域医療をやってみたいという人が、一人でも増えてくるように願っています。

6回生といえば、大学で全科目の授業をすべて終了し、最新の医学的な知識を持つてはいるのですが、まだまだ経験不足で、ご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが将来の日本の医療や、地域医療を担ってくれる人材を育てるために、今後とも、ご理解とご協力をお願いいたします。

診療技術部長兼放射線科部長 石原 潔

## 看護の日 健康フェスタ開催

5月12日は、クリミア戦争に従軍し、『白衣の天使』といわれたナイチンゲールが生まれた日です。それにちなみこの日が「看護の日」となり当院でもイベントを開催しています。

今回の「看護の日 健康フェスタ」では、毎年恒例の身長・体重・血圧・体脂肪・血管年齢・骨密度に加え、手洗いチェック・キッズダンス体験のコーナーを設けて実施しました。その結果、173名とたくさんの方々に参加していただきまして感謝しております。

平日ということもあり、子供さんの参加は少なかったのですが、笑顔溢れる子供さんの写真撮影ができました。看護師という仕事に興味を持っていただけたでしょうか？  
手洗いチェックでは、普段の手洗いの中で洗



～骨密度測定中です～



～手の洗い残しを確認機でチェック中です～

い残しのあるところを知っていただき、自分の目で確認することで手洗いの重要性を再認識していただきました。

普段なかなか測定できない血管年齢や骨密度の測定があり、この「看護の日」を楽しみにしてくださっている方、外来受診の方、偶然お見舞いに来られた方、と来院の目的は様々ですが皆様の興味をもってくださいました。通院されない方でも今回のイベントの為に足を運んでくださった方がたくさんおられ、大変嬉しく思っています。測定結果を見て、喜ばれる方、落ち込まれる方と様々でしたが、皆様の日頃の健康に関する関心の深さを知ることができました。

今年も無事にイベントが終了できました。近隣の皆様、多数のご参加本当にありがとうございました。

看護の日 実行委員会 辻井 愛



## 院内感染対策委員会 研修会に参加して

平成22年6月8日17時30分より、院内感染対策委員会研修が開催されました。

職種を超えた横の繋がりの研修として職員は積極的に参加し追加の椅子や、立ち見も出るような盛況でした。研修内容として今年度の院内全体の取り組みであり職員の非常に高い「針刺し事故をなくそう」・感染防止の基本中の基本「標準予防策」の題で内科新井部長、ICN(感染管理認定看護師)の藤井看護副部長にそれぞれ講演して頂きました。「針刺し事故をなくそう」では、新井部長より、学問的な話から、山城病院の現状を踏まえた上での取り組み方法を講義して頂き、新たに共通の認識が出来たことと感じています。



又、「標準予防策」では藤井看護副部長より基本指針・手指衛生・手袋・マスク・エプロンなど日ごろ山城病院の医療現場で実際自分たちの行っている事を講義して頂きました。講義の内容と自分たちの行っている行動を比較しながら話を聞くことができ非常に有意義な研修であったと思います。今後も積極的に研修の内容を業務の中で活かしていきたいと考えています。

院内感染委員会委員 村上美代子